

# 中古介護用入浴機器の取扱いに関する 自主基準

2020年2月14日 制定

日本介護用入浴機器工業会

Japan Bathing System for nursing care Association

## 1. 趣旨

様々な中古機器が市場で流通する中で、安易に中古介護用入浴機器を購入し、メーカーのメンテナンスサポートを受けられずに困惑している購入者を見かける。

そこで日本介護用入浴機器工業会（JBATH）では、中古介護用入浴機器の購入検討者に対して、品質・安全性確保等に関する注意事項を情報提供する。

## 2. 定義

中古介護用入浴機器とは、リースアップ、中古販売業者、オークション、事業譲渡、施設グループ内での移設などで取り扱われる使用済み介護用入浴機器をいう。

## 3. 適用範囲

当自主基準は、日本介護用入浴機器工業会の会員企業が製造販売した介護用入浴機器に適用する。

## 4. 目的

当自主基準の目的は、上記適用範囲の中古介護用入浴機器に関する注意事項について、購入検討者に対して情報提供を行うことである。

## 5. 購入検討者への依頼及び情報提供の実施

各メーカーは、そのメーカーの判断に基づき中古介護用入浴機器の購入検討者に対して情報提供を行うものとする。情報提供には以下の(1)～(3)項目を含める。

- (1) 購入検討者への依頼事項
- (2) 中古介護用入浴機器のリスク
- (3) 注意が必要な中古介護用入浴機器の例

## 6. 購入検討者への依頼及び情報提供内容の例

### (1) 購入検討者への依頼事項

中古介護用入浴機器の購入前に、下記のようなリスクを回避し安全性を確保するために、使用可否判断や、購入後の点検保守費用について必ずメーカーへお問い合わせください。

仮に知らずに購入後にお問い合わせいただいた場合、使用可否や点検保守費用など、予期せぬ事態により不利益を被る場合がありますので、必ず購入前にご検討ください。

### (2) 中古介護用入浴機器のリスク

購入者はメーカーのサポート情報がない状態で中古介護用入浴機器を使用すると、以下のリスクがあります。

- 1) 修理部品や消耗品の提供や、修理などの保守を受けられない場合があります。
- 2) 損害・事故等の責任を負えない場合があります。
- 3) 最終のお客様が知っておくべき、以下の情報が届かない事態になります。

- ① 定期点検の案内
  - ② 使用方法に関する注意事項
  - ③ 部品や付属品の提供についての情報
  - ④ 機器の不具合情報 など
- 4) 誤った設置や操作での事故、保守を行っていないための事故、または火災など、お客様が使用者責任を問われる可能性があります。

(3) 注意が必要な中古介護用入浴機器の例

- 1) 機器銘板（メーカー名、製造番号等記載）が剥がされている機器
- 2) 非常に汚れや腐食が進行している機器
- 3) 取扱説明書がない機器
- 4) 付属品がない機器

7. 購入検討者への情報提供手段

各社のホームページや販促活動等で情報提供を行う。

附則

- (1) 当自主基準は、2020年2月14日から適用する。
- (2) この自主基準の改定は、日本介護用入浴機器工業会 理事会にて承認の上行う。

以上

中古製品取扱検討部会

(部長)	中村 雅明	株式会社アマノ
(副部長)	内田 力	オージー技研株式会社
(部員)	阿部 真幸	酒井医療株式会社
	西野 剛	株式会社アマノ
	瀬尾 卓志	株式会社メトス
	大倉 陽一	株式会社メトス
	山本 圭二	株式会社いうら
	平本 仁一	パラテクノ株式会社
	篠藤 博憲	パラマウントベッド株式会社
	滝川 光紀	積水ホームテクノ株式会社
	平尾 康博	株式会社ヤエス
	石川 真也	株式会社ヤエス
	加藤 洋	株式会社フツラ
	南 孝徳	エア・ウォーター株式会社
	中井 卓	エア・ウォーター株式会社